

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年1月14日(2010.1.14)

【公開番号】特開2008-142364(P2008-142364A)

【公開日】平成20年6月26日(2008.6.26)

【年通号数】公開・登録公報2008-025

【出願番号】特願2006-333992(P2006-333992)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月18日(2009.11.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の契機に基づいて遊技者にとって有利な特別遊技状態を発生させるか否かの抽選を行う抽選手段と、

複数の識別情報列においてそれぞれ複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示手段と、

前記抽選の結果に基づき前記各識別情報列において停止表示された複数の識別情報が特定の組合せとなった場合に前記特別遊技状態を発生させる特別遊技状態発生手段とを備えた遊技機であって、

前記各識別情報列に個々に対応した記憶領域を有し、当該各記憶領域に前記識別情報を特定可能な特定値を記憶する特定値記憶手段と、

前記特定値記憶手段に記憶された特定値を参照し、当該特定値に対応する識別情報を前記可変表示手段にて停止表示する識別情報として決定する識別情報決定手段と、

前記各識別情報列に個々に対応して複数の乱数値を取得する乱数取得手段と、

前記各識別情報列に対応した各特定値を、対応する前記乱数値を基に新たな値に更新する更新手段とを備え、

定期的に実行される所定のループ処理を一回実行する間に、前記複数の識別情報列に対応する全ての特定値を更新することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

所定の契機に基づいて遊技者にとって有利な特別遊技状態を発生させるか否かの抽選を行う抽選手段と、

複数の識別情報列においてそれぞれ複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示手段と、

前記抽選の結果に基づき前記各識別情報列において停止表示された複数の識別情報が特定の組合せとなった場合に前記特別遊技状態を発生させる特別遊技状態発生手段とを備えた遊技機であって、

前記各識別情報列に個々に対応した記憶領域を有し、当該各記憶領域に前記識別情報を特定可能な特定値を記憶する特定値記憶手段と、

前記特定値記憶手段に記憶された特定値を参照し、当該特定値に対応する識別情報を前記可変表示手段にて停止表示する識別情報として決定する識別情報決定手段と、

複数ビットよりなる一次乱数値を生成する乱数生成手段と、  
前記一次乱数値から前記各識別情報列に個々に対応した所定ビット分の値を抽出し、当該値を前記各識別情報列に個々に対応した複数の二次乱数値として取得する乱数取得手段と、

前記各識別情報列に対応した各特定値を、対応する前記二次乱数値を基に新たな値に更新する更新手段とを備え、

定期的に実行される所定のループ処理を一回実行する間に、前記複数の識別情報列に対応する全ての特定値を更新することを特徴とする遊技機。

### 【請求項 3】

前記抽選の結果に対応した複数の前記特定値記憶手段を備えるとともに、

前記更新手段により更新された新たな特定値の組合せが前記抽選のいかなる結果に対応したものかを判別する対応関係判別手段と、

前記対応関係判別手段による判別結果に応じて、前記更新手段により更新された新たな特定値の組合せを記憶すべき前記特定値記憶手段を選択する選択手段とを備え、

前記識別情報決定手段は、停止表示する識別情報の決定に際し、前記複数の特定値記憶手段のうち、前記抽選の結果に対応する所定の特定値記憶手段を参照することを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。